



“地域のことは地域で考えよう”

2014年11月26日

おきぎん県内景況・速報 2014年10月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。
生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2014年10月分)

◎2014年10月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

10月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は衣料品や雑貨などが好調で、前年同月上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数はレンタカー需要の反動減などにより前年同月を下回りました。

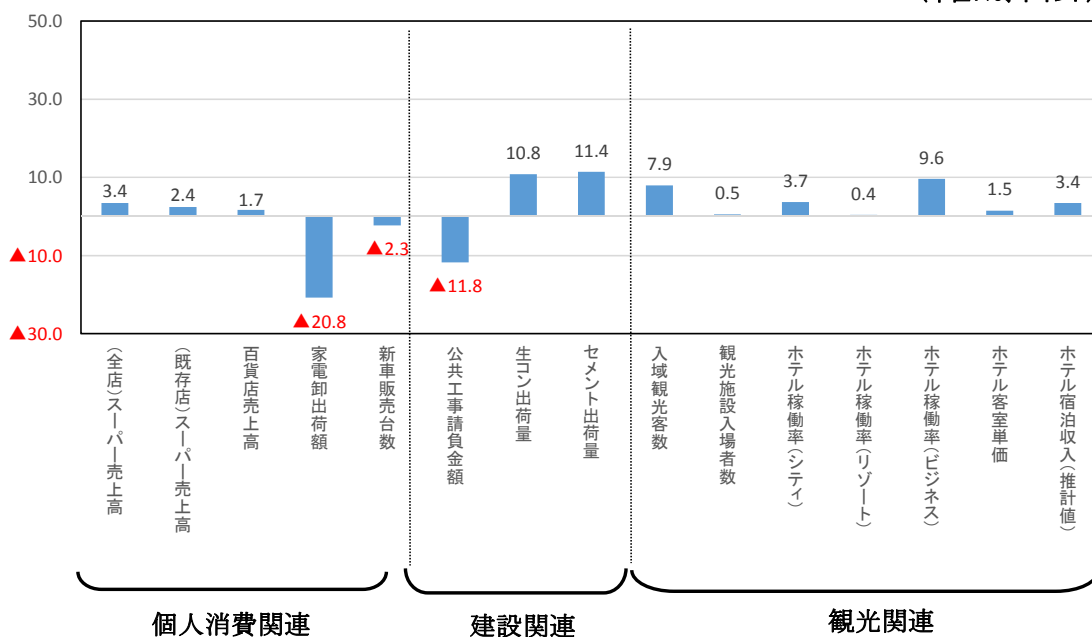
建設関連では、公共工事請負金額は、市町村や国発注工事減などにより前年同月を下回りました。建設資材である生コン、セメントはともに上回りました。

観光関連では、入域観光客数は25ヵ月連続で前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月上回りました。ホテル客室単価は前年同月上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費において消費税増税に伴う駆け込み需要の反動等による影響が和らいでおり、また、建設関連や観光関連では堅調な動きが続いていることから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。(2014年2月の上方修正後から9ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比

(単位: %、ポイント)



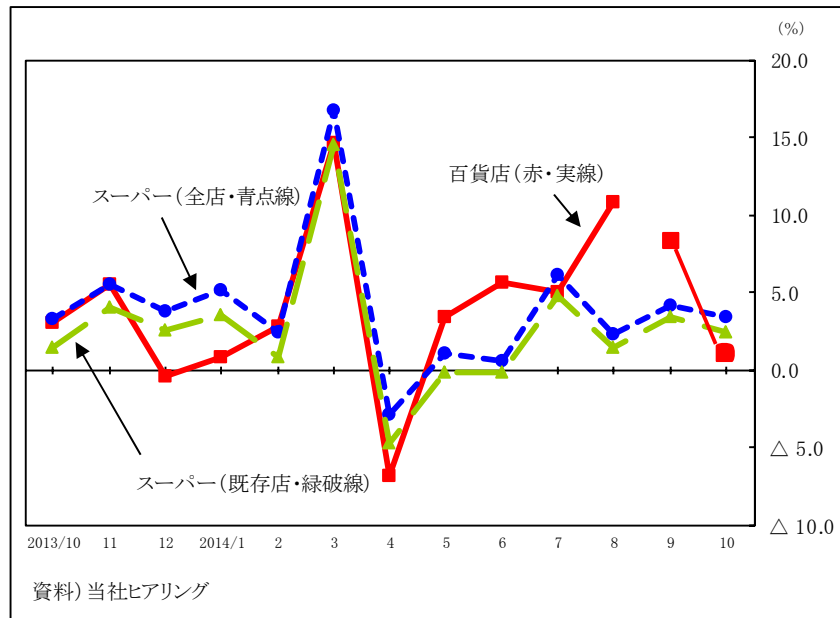


■個人消費： (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全 店	既存店	
2013/10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5
12	3.8	2.6	△ 0.4
2014/1	5.2	3.6	0.9
2	2.4	0.8	2.8
3	16.8	14.6	14.7
4	△ 2.8	△ 4.7	△ 6.8
5	1.1	△ 0.1	3.5
6	0.6	△ 0.2	5.7
7	6.1	4.8	5.0
8	2.3	1.5	10.8
9	4.2	3.4	8.8
10	3.4	2.4	1.7



注1) 前年同月比

注2) 百貨店売上額については、9月よりサンプル数の変更に伴い、前月(8月)までの数値と連続しないため、使用する際は注意する必要があります。

10月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 3.4%増)」が6ヵ月連続で前年同月を上回りました。ウェイトの高い「食料品(同 4.2%増)」の売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 2.4%増)」では4ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 3.1%増)」は、台風19号接近による臨時休業や一部青果(葉野菜など)の相場高がみられたものの、生鮮(肉・魚)などの売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 1.5%増)」は台風の影響や下旬の気温高などから家庭雑貨の布団関連で売れ行きが低調だったものの、化粧品が外国人観光客向け免税制度の拡大により売れ行きが好調で前年同月を上回りました。一方、「衣料品(同 3.0%減)」は、台風接近による休業の影響から前年同月を下回りました。

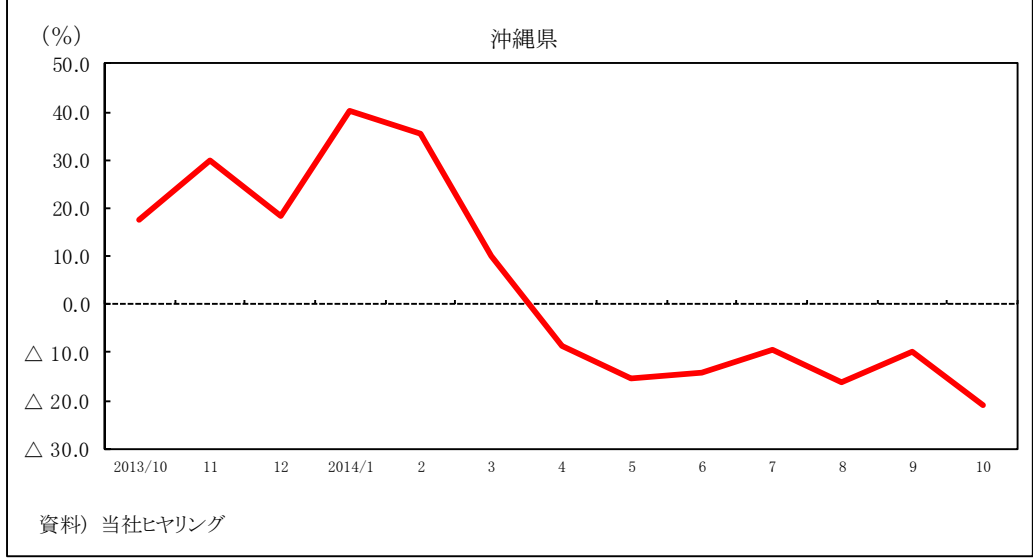
百貨店売上高*は、「衣料品」や「雑貨」の売れ行きが好調で前年同月を上回りました(同 1.7%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 7.6%増)」は台風19号接近による臨時休業の影響がみられたものの、改装効果や販促効果により売れ行きが好調で、「婦人服(同 8.4%増)」や「紳士服(同 1.4%増)」が前年同月を上回りました。

また「雑貨(同 17.2%増)」は、化粧品などが外国人観光客向け免税制度の拡大により売れ行きが好調で前年同月を上回りました。一方、「食料品(同 17.2%減)」は生鮮(肉・魚)などの売れ行きが好調だったものの、物産展の開催減少などにより前年同月を下回りました。

*百貨店売上高については、9月分より調査手法変更(サンプル数が異なる)に伴い、8月分までの時系列データと連続していません。ご利用の際は、その点、ご留意頂けますようお願い申し上げます。

②家電卸出荷額…太陽光パネルの売上減少などにより前年同月を下回る。

単位: %	
沖縄県	
2013/10	17.6
11	29.9
12	18.2
2014/1	40.4
2	35.6
3	10.2
4	△ 8.7
5	△ 15.3
6	△ 14.2
7	△ 9.6
8	△ 16.1
9	△ 9.7
10	△ 20.8

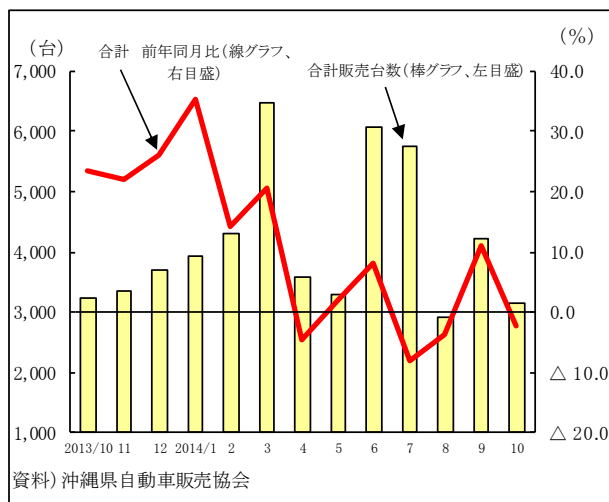


注) 前年同月比

家電卸出荷額は、旧型モデルの販促効果や新型モデル効果がみられたものの、太陽光パネルの売上減少により、7 ヶ月連続で前年同月を下回りました(同 20.8%減)。品目別で見ると、「太陽光パネル(同 71.6%減)」は新規接続中止に伴う売上減少の影響などから、「テレビ(同 13.0%減)」は新型モデルの売れ行きが低調で、前年同月を下回りました。一方、「冷蔵庫(同 26.0%増)」「洗濯機(同 6.1%増)」は旧型モデルの販促効果や新型モデルを投入したことなどから、「エアコン(同 8.2%増)」は大口商談により売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…レンタカー需要の反動減などから、前年同月を下回る。

単位: 台, %					
	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2013/10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9
12	3,689	26.1	51.9	24.9	23.7
2014/1	3,929	35.4	54.4	61.6	24.4
2	4,307	14.1	43.0	△ 7.2	17.1
3	6,481	20.5	26.1	23.1	15.8
4	3,590	△ 4.6	△ 12.9	△ 20.3	4.9
5	3,284	2.1	△ 0.9	△ 2.0	5.1
6	6,075	8.1	3.8	3.8	17.9
7	5,756	△ 8.2	15.3	△ 9.9	△ 11.9
8	2,914	△ 3.6	1.8	△ 4.7	△ 3.0
9	4,229	11.1	21.5	△ 3.7	8.8
10	3,152	△ 2.3	△ 6.1	△ 35.1	12.3



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で3,152台(同 2.3%減)となり、2 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別にみると、昨年みられたレンタカー需要の反動減などにより「普通乗用車(同 6.1%減)」が5 ヶ月ぶり、「小型乗用車(同 35.1%減)」が4 ヶ月連続で前年同月を下回りました。一方、「軽乗用車(同 12.3%増)」は新商品(モデルチェンジ、マイナーチェンジなど)の需要が堅調に推移し、2 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

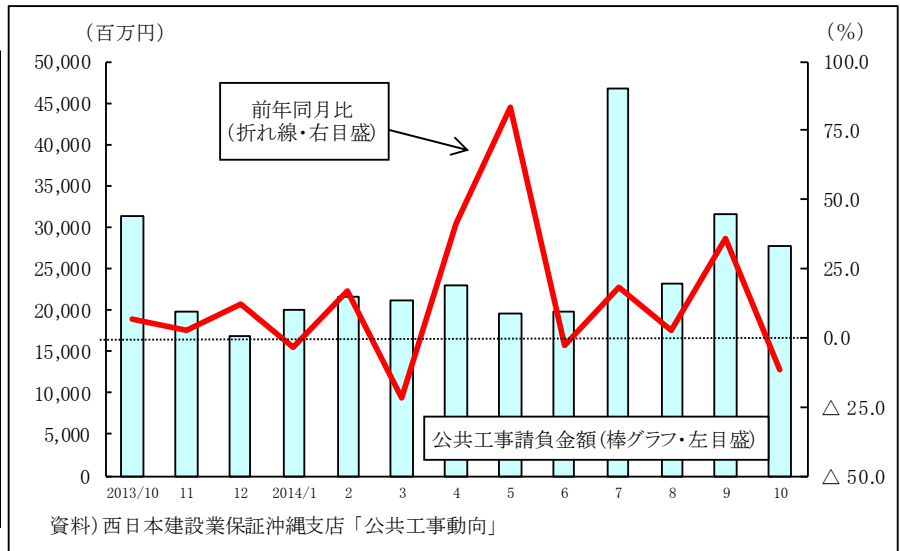


■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。

単位:百万円、%

	請負金額	前年同月比
2013/10	31,327	6.4
11	19,880	2.5
12	16,792	12.0
2014/1	20,056	△3.4
2	21,681	16.6
3	21,096	△21.6
4	22,973	41.3
5	19,683	83.2
6	19,751	△2.8
7	46,674	18.5
8	23,163	2.4
9	31,485	35.8
10	27,642	△11.8

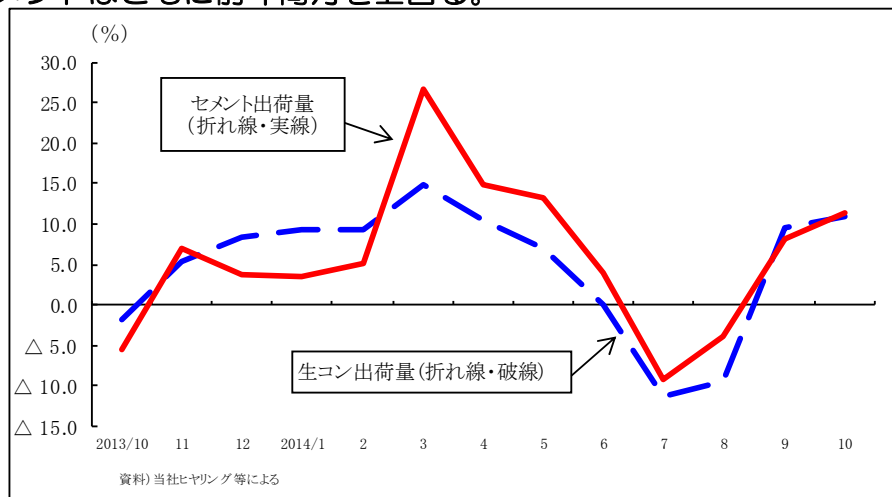


10月の公共工事請負金額は、前年同月比11.8%減の276億4,200万円となりました(4ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「沖縄県(同 25.3%増)」は北部での橋梁整備工事などの大型工事の前年同月を上回ったものの、それ以外の「国(同 16.9%減)」や「独立行政法人等(同 95.9%減)」、「市町村(同 20.7%減)」、「その他の公共的な団体(同 44.7%減)」は前年の大型工事の反動などで下回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。

単位:前年同月比 (%)

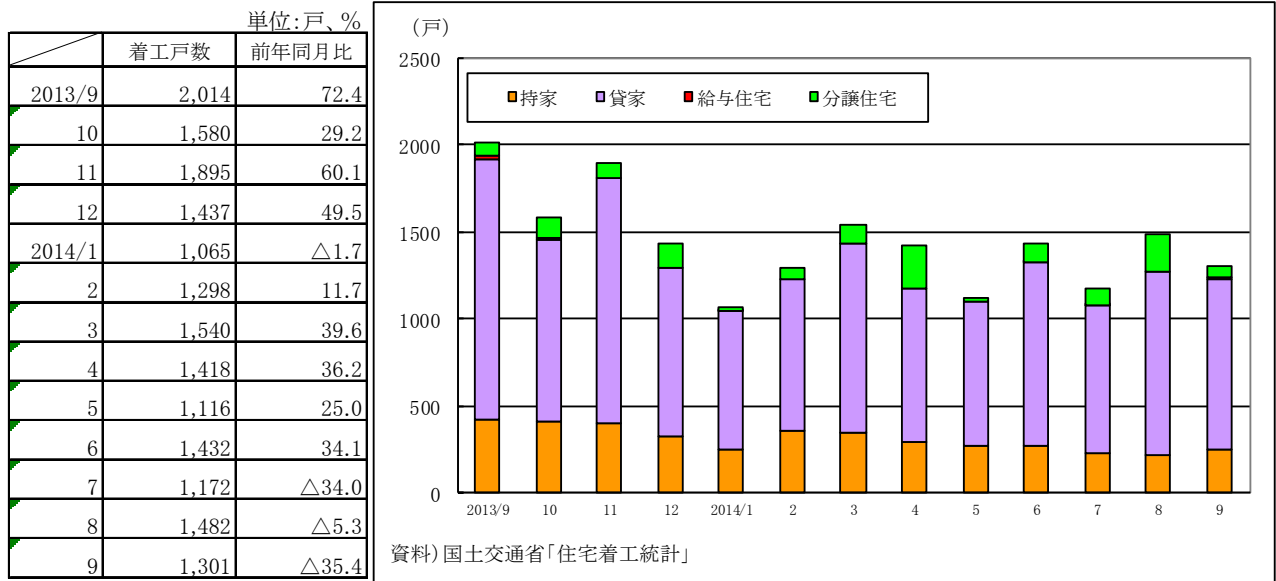
	生コン	セメント
2013/10	r △1.9	△5.5
11	r 5.3	6.9
12	r 8.4	3.8
2014/1	r 9.3	3.4
2	r 9.2	5.2
3	r 15.0	26.8
4	r 10.3	14.9
5	r 7.0	13.2
6	r △0.1	3.9
7	r △11.2	△9.3
8	r △9.4	△3.9
9	r 9.6	8.2
10	10.8	11.4



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある
(注2) 生コンデータは、9月より調査対象先を増やした為、遡及し修正している

建設資材関連では、生コンの出荷量は10.8%増加し、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より37.2%上回ったものの、民間工事向け出荷は0.6%下回りました。セメントの出荷量は11.4%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

【参考】 住宅投資 (9月分) …着工戸数は前年同月を下回る。



新設住宅着工戸数 (9月) は、全体で前年同月比 35.4%減の 1,301 戸と3ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、ウエイトの高い「貸家 (同 34.2%増)」をはじめ、それ以外の項目でも前年同月を下回りました。

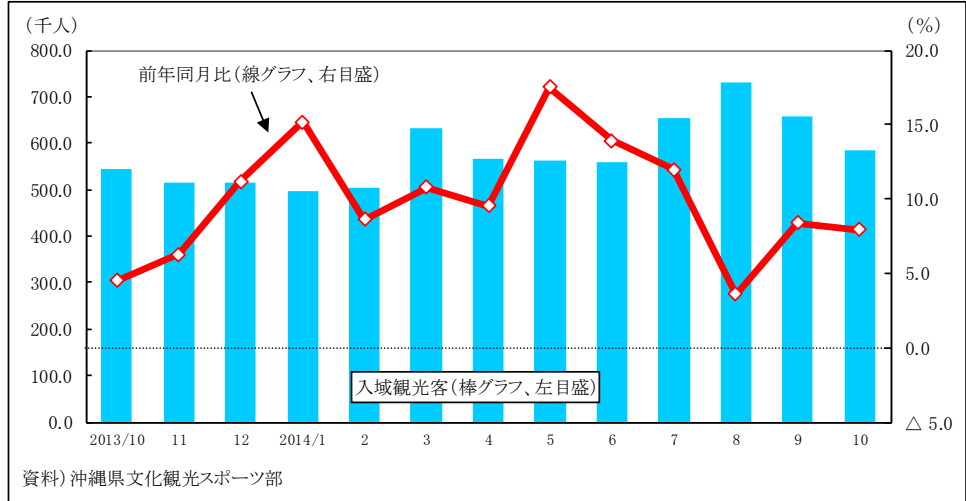


■観光関連： (良い)

①入域観光客数…25ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%

	入域観光客	前年同月比
2013/10	543.0	4.5
11	513.6	6.3
12	515.5	11.2
2014/1	495.1	15.2
2	503.1	8.6
3	630.2	10.8
4	565.6	9.5
5	561.4	17.5
6	557.3	13.9
7	653.9	12.0
8	731.2	3.6
9	658.7	8.4
10	586.0	7.9



※外国客は乗務員等を含む

10月の入域観光客数は、43,000人多い586,000人(前年同月比7.9%増)となり、25ヵ月連続で前年同月を上回りました。(10月としては過去最高)

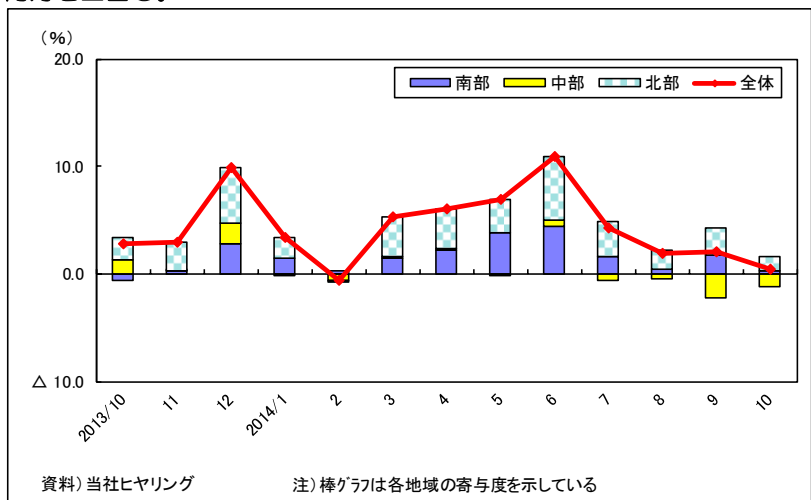
内訳をみると、「国内客(同1.4%増)」は492,200人と10月前半は台風襲来による影響(航空便の欠航やキャンセル)があったものの、継続的な沖縄方面への旅行需要や航空路線の拡充(LCC就航、伊丹一那覇路線)等により、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同62.3%増)」は、93,800人と15ヵ月連続で前年同月を上回りました。一部で台風の影響がみられたものの、航空路線の拡充、クルーズ船の寄港回数増加などにより、空路・海路ともに好調であったことから前年同月を上回りました。「台湾(同41.4%増)」「韓国(同167.3%増)」「中国本土(同143.1%増)」「香港(同48.6%増)」 ※乗務員等を除く2014年10月実績=全体573,700人(同7.4%増)、外国客81,500人(同65.7%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…8ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2013/10	r 2.8	△1.4	10.2	r 4.7
11	2.9	0.6	0.05	6.1
12	9.9	6.5	14.4	11.6
2014/1	3.4	4.0	△0.1	4.0
2	△0.6	0.6	△4.0	△0.5
3	5.3	3.7	1.2	8.0
4	6.0	5.5	1.7	7.8
5	7.0	9.6	△0.01	6.7
6	10.9	11.1	5.6	12.0
7	4.3	4.9	△4.6	6.0
8	1.8	1.3	△3.0	3.4
9	2.0	r 5.1	△16.6	4.8
10	0.5	0.7	△8.5	3.0



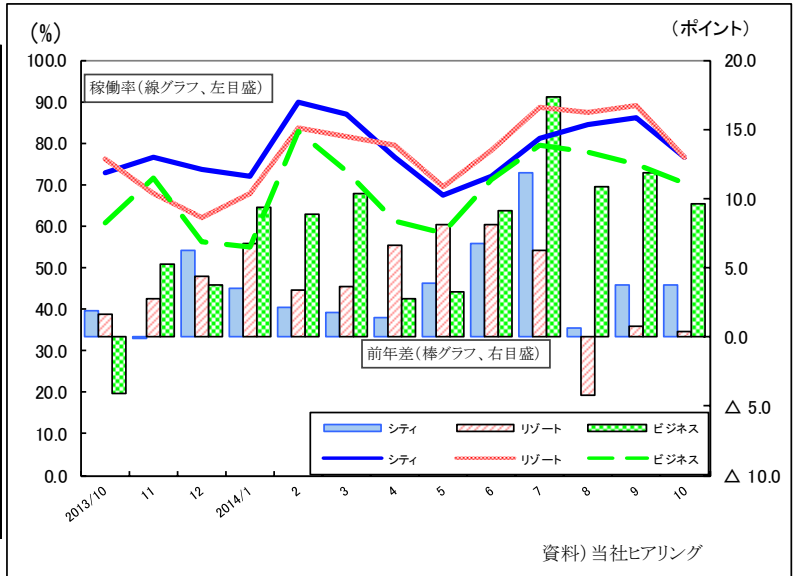
*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より0.5%増加(8ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同0.7%増と12ヵ月連続、北部は同3.0%増と8ヵ月連続で前年同月を上回り、中部は同8.5%減と4ヵ月連続で下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2013/10	r 72.7	76.2	60.6	r 1.9	1.6	△ 4.1
11	76.6	67.7	71.6	△ 0.1	2.7	5.2
12	73.7	62.0	56.4	6.3	4.4	3.7
2014/1	72.0	68.0	55.1	3.5	6.8	9.3
2	90.0	83.5	82.9	2.1	3.4	8.9
3	86.8	81.7	73.3	1.8	3.6	10.3
4	76.5	79.5	61.2	1.4	6.6	2.7
5	67.4	69.4	58.5	3.9	8.1	3.3
6	72.1	78.3	71.0	6.7	8.1	9.1
7	81.2	88.4	79.3	11.8	6.3	17.3
8	84.4	87.5	77.6	0.6	△ 4.2	10.9
9	86.0	88.8	75.1	3.7	0.8	11.8
10	76.4	76.6	70.2	3.7	0.4	9.6



注)シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

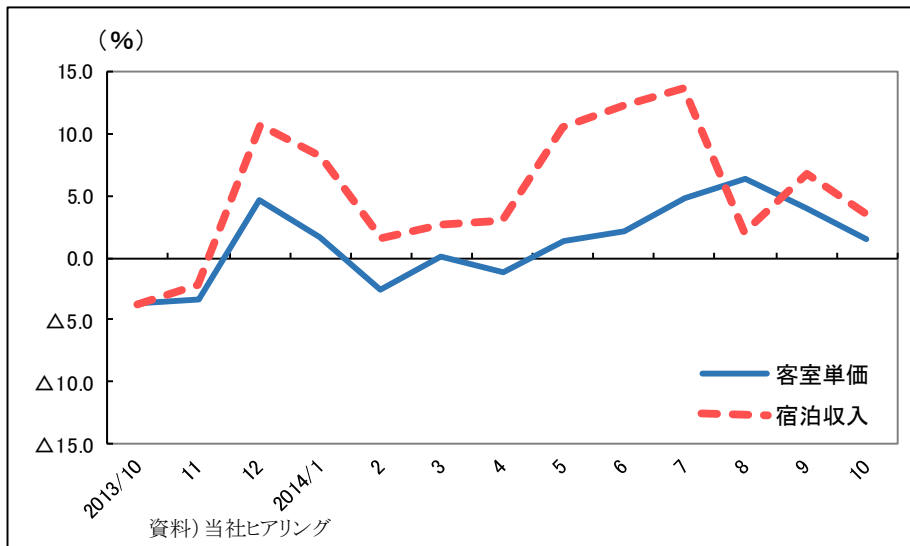
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが76.4%と3.7ポイント上昇(11ヵ月連続)、リゾートホテルが76.6%と0.4ポイント上昇(2ヵ月連続)、ビジネスホテルが70.2%と9.6ポイント上昇(12ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2013/10	r △3.7	r △3.7
11	△3.4	△2.1
12	4.6	10.6
2014/1	1.6	8.1
2	△2.6	1.5
3	0.1	2.7
4	△1.2	3.0
5	1.3	10.5
6	2.1	12.2
7	4.8	13.6
8	6.3	2.1
9	r 4.0	r 6.8
10	1.5	3.4



※対象施設数: 29施設(シティ10、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は29施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

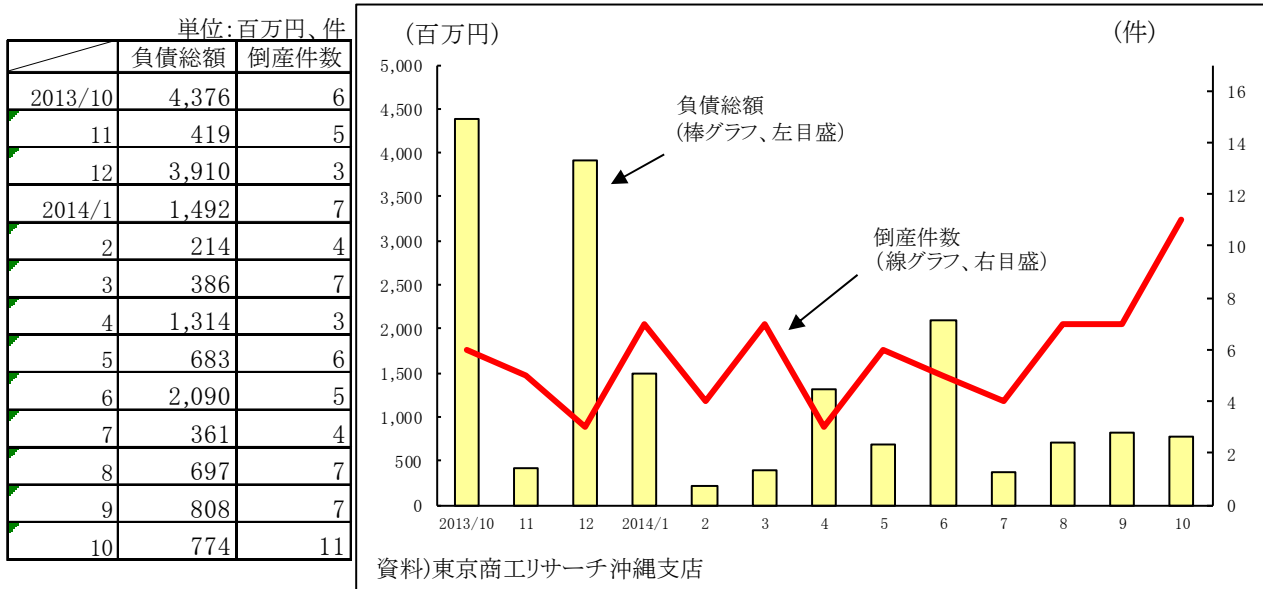
※2014年4月指標より新たに掲載

ホテル客室単価(シティ&リゾート)が前年同月比1.5%増と前年同月を上回ったほか、宿泊収入も同3.4%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月を上回り、負債総額は大幅に下回る。

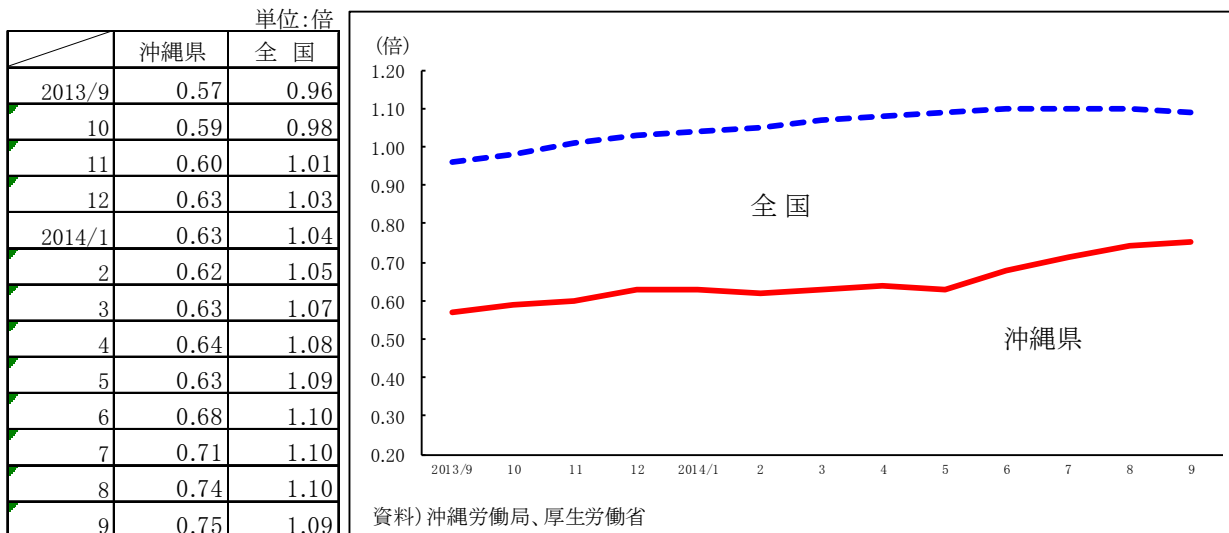


10月の企業倒産件数は、11件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産3件)発生し前年同月より83.3%増加し、負債総額も7億7,400万円と82.3%減少しました。



【参考】雇用関連: (やや良い)

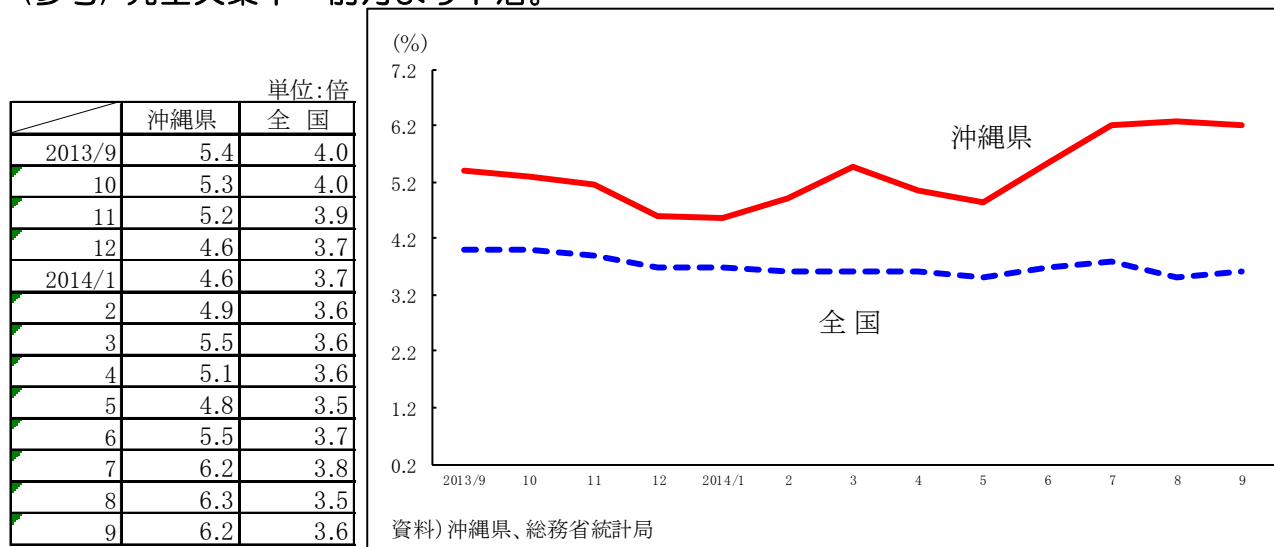
(参考)有効求人倍率(9月)…前月より上昇。



注) 季節調整済
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

9月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比2.1%増の21,839人に対して、月間有効求職者数(同上)は同0.4%増の29,174人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.75倍となり前月より0.01ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率…前月より下落。



注) 季節調整済

9月の完全失業率(季節調整値)は、6.2%となり前月より0.1ポイント下落しました。